



国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2011-2012 ガバナー月信

# Governor's Monthly Letter

vol. **5**  
2011.11.1



長谷寺絵馬「西国三十三観音霊場図(嘉永7年)」

## C O N T E N T S

- 2 ガバナーメッセージ  
「ロータリー財団月間に寄せて」
- 3 ロータリー財団月間によせて  
(地区ロータリー財団委員長)
- 4 地区青少年交換委員会報告
- 5～10 ガバナー公式訪問だより
- 11 笠岡RC創立55周年記念式典を終えて
- 12 岡山中央RC創立25周年記念式典を終えて
- 13 2011-2012年度 新地区補助金奨学生留学  
国際ロータリー第2690地区クラブ分布図
- 14・15 地区だより(9月)
- 16 出席報告(9月)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度  
国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)  
2011-2012年度 ガバナー 伊藤 文利



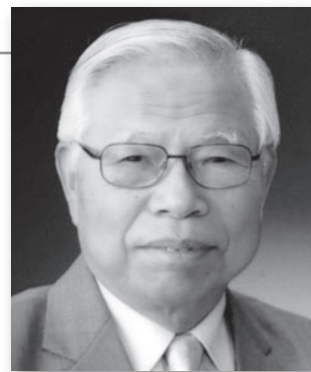
こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

## ガバナーメッセージ

# ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

伊藤 文利



昨年7月のロータリー新年度よりRIは長期計画(戦略的計画が真の意味?)を我々に示し、これを推し進めるよう勧奨しています。その中に示された3本柱の一つとして「クラブのサポートと強化」が強調され、その為に会員増強とロータリー財団(以下R財団)資金調達が不可欠だと結んでいます。

R財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際的レベルにおいて、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通して、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。地区は各クラブによるR財団プログラムへの参加と財政支援の調整に当たります。一方、ガバナーである私は各ロータリアンがR財団を支援し、R財団の可能性・潜在能力を理解してもらうよう各会員に説明し、意欲を喚起するよう義務づけられています。

R財団は1917年に基金として発足し、1928年国際大会でRIの「ロータリー財団」と正式に名付けられ、今日に至っております。従って、今から6年後にはR財団創立100周年を迎えることになり、その日に向けて色々なプログラムが用意されるものと推測しています。

このR財団約100年間の歩みを振り返ってみると、ロータリーの真髄である「超我の奉仕」を核とした人道的、教育的、平和推進を目的とした数えきれない程のプログラムが生まれ、実施されてきました。よくご存じのポリオ・プラス、GSE、奨学金(世界最大の民間奨学生制度)、3Hプログラム(Health, Hunger and Humanity Program)、マッチング・グラント等など、現在でも継続中のものもあります。

さて、我が2690地区のR財団寄付の数字を見てみましょう。2009-2010年度の数字ですが、日本全国

34地区内では8番目の額で約57万米ドル、約3300人の地区会員一人当たり、平均約173米ドルとなります。即ち、我が2690地区は頑張っており、さすがにパイロット地区に選ばれたのもうなずけます。この内50%が、来年森田年度にDDF(地区財団活動資金)として地区に還元される予定です。が、さて私の年度で57万米ドルを目標寄付額とすれば、現在約3100名、一人当たり184米ドルを求めなければなりません。その上、円高の今、ドルベースに換算すると、一人当たり200米ドル辺りを目標にしなければ3年後、今年のような新地区補助金額は期待できないことが容易に推測できます。一方、新地区補助金として地域に良いことをしようという各種の奉仕活動に対し、前年度、今年度と67クラブのうち半数以上がこの資金を利用して、地域社会に大きく貢献されています。

我が2690地区がパイロット地区に指定されている現在、これを活かして更に活発な奉仕活動をするためには、新地区補助金の活用法を学び、もっと利用して欲しいと思います。要は資金調達(寄付)と新地区補助金プログラム実施は車の両輪であり、両者が相まって進行することが何より大切であります。皆様にはこの間のご事情をご賢察の上、更なるご理解をお願い致します。

## ロータリー財団月間によせて

地区ロータリー財団委員長

鳥居 滋



現在、RI第2690地区はパイロット地区として、ロータリー財団の新しい「未来の夢計画」を実施しております。伊藤年度は、この「未来の夢計画」の試行の2年度目にあたります。この「未来の夢計画」では、「新地区補助金」が地区の奉仕事業の中核となっています。

RI第2690地区では、「新地区補助金」から10万円とクラブからの醸金10万円とを合わせて、20万円を最低限度とする奉仕プログラムを募集し、地区内67クラブから約40件の企画提案を頂きました。これらの提案のあった奉仕プログラムは、地区の新地区補助金小委員会の下で、申請書類の内容が覚書(MOU)に照らして過不足が無いかどうかを調べるなど、最終的な申請に向けての作業がなされました。こういった手続き作業は小林年度で行い、今年度に入ると、8月中旬から予算の執行ができるようになり、38件の奉仕プロジェクトが実施されつつあります。

ところで、「新地区補助金」での奉仕プロジェクトの実施に際しては、これまでの地区補助金と異なり、奉仕プロジェクトへのクラブロータリアンが積極的に参加し汗を流すことが推奨されています。つまり、単に物品の供与に終わらず、その行為に奉仕活動が伴っているかどうかの評価ポイントとなっています。新地区補助金小委員会では、このような観点からのアドバイスを申請時にできるように努力されていますので、皆様のご理解とご協力を強く期待しております。

さて、ロータリー財団がロータリー財団プログラムを初めて実施したのは1947年で、国際親善奨学金の支援からでした。それは、ポール・ハリスがシガゴの自宅で亡くなった年でもあります。しかし、ロータリー財団の構想は、1917年、アーチ C. クランフRI会長が、「世界でよいことをするために」基金の設置を提

案したときに遡ることができます。早速、26.50ドルの最初の寄付が贈られてきましたが、財団としての体裁は、基金が5,000米ドルに達した1928年になったときからで、この年、基金は、「ロータリー財団」と名づけられました。クランフ元会長をはじめとする5名の管理委員が、「RIの目的を推進するための単独の信託機関としての財団の全資産を維持、投資、管理、運営する」ために任命されて以来、国際ロータリーから独立した別の機関となっています。これらの基金(WF、世界基金)は、もっぱら「世界でよいことをしよう」をモットーに活用されます。

「ロータリー財団の未来の夢計画」への試行期間に、各クラブでの効果的な「新地区補助金」の活用が期待されています。



## 地区青少年交換委員会報告

地区青少年交換委員長 西谷純美

平成23年9月10日(土)に、倉吉市で「2011-2012年度国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会 受入学生第1回オリエンテーション・歓迎会・帰国学生報告会」を開催しました。

当日は伊藤文利ガバナーをはじめ地区委員の方々、またインバウンドのサマンサ・キャスリン・ハドソンさん(2011-12、米国オハイオ州出身)とそのホストファミリーの方々、ローテックスの神谷堯明(2010-11)さん、尾崎百合香(2009-10)さんをはじめ、当委員会に積極的な高梁RC、倉敷RCからも参加していただき29名での盛大な会となりました。

冒頭、伊藤文利ガバナーの歓迎の挨拶ではじまり、地区委員の自己紹介と来日学生の挨拶、オリエンテーションがありました。

はじめに、8月下旬に来日されたサマンサさんが、滞在期間が短いにもかかわらず流暢な日本語で、これからの1年間日本で勉強したいことや抱負等話をされました。特に、文化の異なる日本で多くのことを学んでいきたいという彼女の「I'll do my best.」の言葉がとても印象的でした。残念なことに、今年は岡山後楽園RCと米子南RCでの受入を予定していた学生は、福島原発事故のため中止になってしまい、サマンサさん一人だけのインバウンド学生になってしまいました。

続いて、歓迎昼食会をばさんで帰国学生報告会に移り、前年度派遣の出雲南RC神谷堯明君には、りっぱな帰国報告書を提出していただきましたが、これに基づく帰国報告があり、たいへん充実した1年間を過ごした模様が伝わってきて、頼もしく感じられる報告でした。

又、前々年度の高梁RC尾崎百合香さんも出席いただき、今後ローテックスとして協力いただけるとのことで、ますますの活性化を図っていききたいと思います。

一方、アウトバンドで海外へ留学した派遣学生は3名(倉吉RC菅原空君、米子南RC隅田美莉さん、岡山後楽園RC岡村光隆君)で、一年間の成長ぶりを来年聴けることを楽しみにしています。

当委員会では「どうするのが一番子供たちのためになるか」という、この価値判断をゆるがすことなく、これからも良い仕事を行ないたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。併せて、本年度派遣学生の募集も始まっていますので、たくさんの方の応募をお待ちしております。



## ガバナー公式訪問だより

### 7/27 水 井原ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・奥野随行幹事



妹尾会長、宮本幹事の笑顔での出迎えを受け、例会場の井笠地域地場産業振興センターでB方式による公式訪問に臨みました。

妹尾会長の今年度重要課題は「地区大会・IMへの積極的参加、東日本大震災に対する長期的支援」を主とし「楽しい例会となるよう努力する」を挙げられています。特色ある委員会活動ではLC、JC、他RCとの親睦ゴルフ大会をされ、広報・雑誌委員会では毎年報道関係者懇談会を開催して、ロータリーの広報に努められています。インターネット委員会はホームページで「井原RCメーリングリスト参加者の勧誘」を公開して会員増強に、職業奉仕委員会では自然環境問題「川レンジャー」の活動に取り組み、着実な成果が見られます。

特記すべきは、R財団委員会で「大銭(おおぜに)・中銭・小銭運動で寄付を募るとともに、全会員が年額22,000円を毎年積み立てて支援援助にあてられています。

当日、ポール・ハリス・フェロー5名、新入会員推薦者(スポンサー賞)の発表があり、伊藤ガバナーより証書・バッジが手渡されました。山間部に所在するクラブとはいえ会員46名(内女性2名)の会社の多くは海外に事業所を置かれて国際的視野でロータリー活動を実践されており、妹尾会長の指導のもと宮本幸枝幹事さんを中心に和気あいの楽しいクラブでした。

### 7/28 木 岡山後楽園ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・奥野随行幹事



大角会長、深井副会長、藤本幹事、畠瀬会長エレクト、小野次年度幹事を交えて会長・幹事懇談会、ガバナー公式訪問が始まりました。

まず、大角会長より創立23年目を迎え、組織のマンネリ化・出席率低下・会員数減少が課題として示されました。そこで今年のクラブテーマは

「一人ひとりが会長」として会員の意識向上に努力する旨の説明があり、伊藤ガバナーからは、会員数51名、出席率86%、平均年齢64.49歳と全てにおいて安定期にあると総評されました。

特に真庭市との共同作業で、蒜山の「備中漆」の復活等を新地区補助金を用いた活動とする一方で、海外を含む4RCとの友好縁組の継続、毎年のRI会長賞受賞、と着実な歩みをされています。会員増強委員会では、アプローチされた方々を整理し「見える化」(データ化)されるとともに、新世代奉仕委員会では、本年岡村光隆君を派遣学生としてカナダKitchener RCへ送り出されています。国際奉仕委員会では、アンコール小児病院の支援事業を5クラブ共同で5年にわたって維持される等、活気みなぎるクラブです。

例会では「クラブソング」を全員で斉唱し、今後CLPの活用で新たな委員会再編に取り組むとともに、女性会員勧誘にも全員討議で取り組まれる等、決意もあらたに新年度を迎えるクラブでした。

### 7/29 金 出雲南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・大田随行幹事



出雲南ロータリークラブを伊藤文利ガバナーの随行員として訪問して参りました。こちらのクラブは来年3月に40周年の記念式典を予定しておられるとお聞きし、

大変伝統のあるクラブという印象を受けました。

土井豆会長からクラブ運営方針についてのお話を伺い、懇談が始まりました。土井豆会長はクラブのテーマを「心の絆を深めよう、まずは自分から率先して」と定めておられます。RI会長テーマ、そして地区のテーマとも相通ずる見識ある運営方針を立てておられ、感服いたしました。

そして田中充幹事よりクラブ概況報告をお聞きいたしました。CLPに熱心に取り組んで居られるということで、このことについて伊藤ガバナーはたいへん喜ばれ、絶賛しておられました。

懇談会終了後の昼食時には、山本茂生パスト・ガバナーそして福代新治氏も合流され、和気あいと話はずみしました。

例会は和やかな中にも格式のある進行に、さすが地域の中核として模範となる名門クラブである事を強く感じた次第であります。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

## ガバナー公式訪問だより

7/29 金

### 米子ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・岡本随行幹事



全日空ホテルにて4時30分より、伊藤文利ガバナーと米子クラブの稲田泰博会長、勝部不二夫副会長、山崎昭子幹事、中本高夫副幹事、太田勝幹事と私で会長幹事懇談会に入りました。

会長の基本に忠実な『奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ』の5つに理念を中心とした運営方針等の説明を受け、伊藤ガバナーからは「米子クラブは歴史のあるクラブで、クラブ活動・運営計画書を見ても何も落ち度もなく素晴らしいクラブ」の一言でありました。

6時30分よりの例会では、伝統あるクラブにふさわしく、会の進行はたいへんスムーズで、懇親会に入っても何の落ち度も見当たらず、会は静かな中にも、会員同志の話は熱が入った議論がされていたように思います。何かと学ぶことの多く、大変勉強になりました。

8/ 1 月

### 松江南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・清水随行幹事



高田和宏会長のもと、継続事業である水環境問題に積極的に取り組んでおられます。また、「betterロータリー、betterロータリアン」を目指していくという長期

計画を立てられる予定であるとお聞きました。

今年度は4クラブ合同例会のホストクラブでもあり、会員全体が楽しいロータリーライフを過ごせることを念頭にクラブ運営をされています。

水の都でもある松江において、環境問題は深刻な問題で、「宍道湖ヨシ植えプロジェクト」へのインターアクトの参加や、宍道湖岸の清掃など積極的に参加されており、ロータリー活動の市民への広報活動もされています。また、本年度は、新地区補助金の申請はできなかったのですが、次年度に向け社会奉仕事業での模索をされています。

米山記念奨学生のベトナム出身ティン・ミン・ホンさんの世

話クラブで、本年度が最終年度でもあり、毎月例会に招待し、多くの会員と交流できるよう工夫をされています。

8/ 1 月

### 米子南ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・清水随行幹事



鈴木信会長の「ロータリーを知り、ロータリーを楽しもう」のスローガンのもと、本年度は青少年交換プログラムの実行年度となり、米子南クラブからは隅田美莉さん

をアメリカに派遣し、日本での生活が良き思い出となるよう、クラブ一丸となって支えていこうという気持ちが伝わってきました。また、例会を楽しくするための努力や、他の委員会と連携をとり、夜間例会の企画・立案をされている親睦委員会の報告がありました。

例会卓話については、会員が興味を持つ内容で、卓話を通じて新入会員の拡大につなげていこうと努力されていました。社会奉仕活動では、「南の森」の里山保全の継続活動が行われ、地域団体と協力された活動がなされていました。

野球等の同好会もあり、会員相互の交流に重点を置いたクラブ運営でした。例会も和やかな雰囲気があり、私も楽しませていただきました。

8/ 2 火

### 隠岐西郷ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



隠岐西郷港で赤沼会長の出迎えを受け、会長幹事懇談会開催時間まで、島内を案内していただきました。途中、日の出トンネル出口の法面の草刈清掃は傾斜面をきれいに清掃され、芙蓉の花も植栽されるなど、ロータリー会員の奉仕活動の一端を拝見させていただきました。会員が流された汗を実感でき、今後が楽しみな場所になりそうです。商工会館近くの観桜場所の再開も拝見することができ、地に足が着いた社会奉仕活動を拝見することが出来ました。

現在、会員数28名とのこと。島内を案内していただきながら、人口減少と離島の過疎化のため、会員増強がままならぬと

## ガバナー公式訪問だより

感じられましたが、女性会員の加入を図り2名の増強を果たしたいと赤沼会長が意欲的に語っておられました。

例会では、忌部副会長は隠岐の国の神職の総帥であり、深い学識の基での隠岐の国の解説に、改めて歴史と自然の豊かな隠岐を認識することが出来ました。

赤沼会長をはじめ会員の方々の、親切でたいへん温かい対応に、大自然の雄大な景色と併せて心の底から豊かな気持ちになれる公式訪問でした。今後の発展を祈ります。

### 8/ 3 水 大社ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



本年50周年記念式典を挙行され、伝統と格式のあるクラブです。創立時26名の会員から、現在は42名の会員で活動されています。出雲大社を敬愛することを基本に

置くクラブであり、現在60年に一度の大遷宮が行われています。

加藤会長は非常に意欲的なクラブ運営を目指しておられ、事業計画を継続計画と単年度計画に分類して、的確な事業計画を立てて遂行していく行動力には、感銘を受けました。

「稲佐の浜」の清掃行事では、小学生から一般市民の方々にいたるまで、約500名の市民が参加されているとの事に、非常な感銘を受けました。日御碕海岸の清掃、出雲大社の清掃、等市民の参加を得た奉仕活動をも、クラブの活動が地域社会に如何に溶け込んでいるのかを実感し感心しました。

加藤会長、渡部幹事をはじめとして若い方々が、リーダーシップを取りながらクラブを運営されており、本年度は5名の会員増強を推進されるとの事。

新世代奉仕委員会も活発で、大社高校生徒全員に「日本人のルーツを考えよう」との講演会を企画されているのは立派なことです。米山梅吉氏出生の三島RCとの交流も特筆すべきことです。

神の国出雲の大社クラブは出雲大社を敬い、地域社会を愛する人々のクラブであることを実感しながら別れを告げました。

### 8/ 4 木 松江東ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣代表幹事・田中随行幹事

銀色に輝く宍道湖畔に面した松江東RCの例会場にて、松崎



会長、川上幹事のお出迎えを受け、早速、不昧公のお膝元ならではの抹茶でのお気遣いを戴きながら会長・幹事懇談会が開催されました。

松崎会長の信念あるお言葉は力強さを感じさせ、ガバナーを輩出された経験があり、来年25周年を迎えられるクラブのオーラ、自負を感じさせられました。強いクラブ・魅力あるクラブを目指し、例会重視の中で会員2名増強を達成するという発言もありました。また、「地域に認知される活動」を重視され、その一環として松江4RCのコラボ事業「水辺の教室」活動を継続して取り組まれています。

伊藤ガバナーの「女性会員の増加を」との提言に松崎会長は「松江東は男のクラブです」との返答、その裏付けは後の例会にて納得…。会員夫人コーラスによるウェルカムソングにて迎え入れられ、特に「倉吉市歌」の演奏には感動・感謝。

このコーラスが夫婦の絆・会員の絆を表し、先ほどの会長の「男のクラブ」発言を理解しました。

### 8/ 4 木 平田ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・八島随行幹事・田中随行幹事



エコ・エネルギーを先駆けて建設された26基の風力発電所を横目に、平田RCの例会場にて飯塚会長・堀江幹事のお出迎えを受けました。

早速、会長・幹事懇談会を開催され、飯塚会長の「ロータリーを楽しもう」のスローガンの下、親睦を深めるため「夜間例会の12回開催予定」をはじめ「ロータリー季節のたより」を全戸配付し30数年継続PR。また植樹・献血等活発な奉仕活動も継続して取り組まれています。

伊藤ガバナーからは、5年目のCLPの採用、出席率・定着率の良好及びロータリー広報活動に対して感謝の言葉がありました。また、飯塚会長から会員の増強を最重点と考え「会員増強2名以上」必達との言葉がありました。

例会では誕生会員を舞台に全員でハッピーバースデーのエールを送る等、なごやかでアットホーム・堅実なクラブ運営という印象を強く持ちつつ公式訪問を終えました。

## ガバナー公式訪問だより

8/ 5 金

### 玉野ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・八島随行幹事



玉野ロータリークラブは、1968年に創立され、43年の歴史と実績のある会員数32名のクラブです。例会場は、瀬戸大橋カントリークラブですが、ガバナー

公式訪問例会は、風光明媚な渋川海岸のダイヤモンド瀬戸内マリンホテルで行われました。

「会員純増2名」の目標達成や、「地域の為に汗しよう」との島田会長の熱い思いを、ベテラン会員（元会長）の富永幹事がサポートして、クラブを運営されています。

出席率は年々向上しており、クラブ奉仕・親睦活動の成果が実証されています。夢計画プロジェクトの企画「玉野市の文化財マップを作成して、市内の小・中学校に配付する」では、立派なマップが印刷の校正まで完成していました。これからが楽しみです。

地域の奉仕や会員相互の親睦に重きを置かれているようですが、米山功労者、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクターにも、多数の方がなられており、米山奨学会やロータリー財団へもしっかり貢献しておられました。

8/ 8 月

### 牛窓ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



1988年に会員数26名で、岡山RCをスポンサークラブとして設立されたクラブです。岡山市から約1時間の距離にある風光明媚な瀬戸内市牛窓は、まぶしい

夏の光の中にとたずんでいました。海岸からすぐのところにはオリーブ園のある山がひろがり、山頂からは美しい島々が一望できます。会員の服部氏の説明を聞きながらの瀬戸内の風景は、生涯忘れることの出来ない美しい景観でした。

現在の会員数は7名に減少しておりますが、会員の方々のロータリー活動に対する想いは非常に高く、社会奉仕活

動では他クラブと共同で展開されています。岡山RCと共催で、第4回「瀬戸内環境シンポジウム」テーマ「瀬戸内の環境と発展」は、子供たちの未来にむけて、安全と安心、文化の問題を取り上げる素晴らしいもので、公共団体の後援を得ながら、広く一般市民、中学生、高校生に呼びかけておられるのに感動しました。

チャーター・メンバーの服部氏は、ご高齢ながら、文化人でもあり、社会教育に熱心な方で、自己所有の永楽会館（事務所、例会場）を広く地域社会に解放され、社会奉仕活動を進められています。

クラブメンバーは、ロータリー活動に熱心に取り組み、皆さんが非常に仲良く、少人数であることを感じさせない活動ぶりには、ロータリーの原点をみる思いがしたクラブ訪問でした。今後の発展を祈ります。

8/ 9 火

### 赤磐ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・井戸垣随行幹事



赤磐市は山の中の町で、交通網の発達には周囲に多くのゴルフ場を開業させ、ゴルフ銀座の感がある地域です。

1994年に会員数33名で発足した若いクラブで、現在会員数20名、平均年齢は63歳ですが、若さの

漲ったクラブです。会員の皆さんが非常に打ち解けた会話を楽しんでおられ、こんな楽しいクラブなら少人数のクラブも両手をあげて賛成、と言いたくなるほどです。

幡山会長、宮下幹事は年間の事業計画、運営計画を作成し、長期、短期計画が年度当初に作成され、CLPの実践を常に心がけておられました。

創立20周年事業の計画も、すでに進めておられ、青少年奉仕活動及び地域社会奉仕活動の継続事業として取り組まれている「孫からの手紙、愛しいものたちから」の冊子は感動しました。挿絵の美しさ、文の構成、表紙の名筆、どれをとっても美しいものです。地域文化の水準を示す銘冊子で、永続していただきたいものです。

また新世代育成の柔道大会の後援、「川の健康度調べ」の実施で動植物の生態観察、自然保護の大切さの体感、エコ活動に対する基盤の育成等、どれも地域社会の重要課題



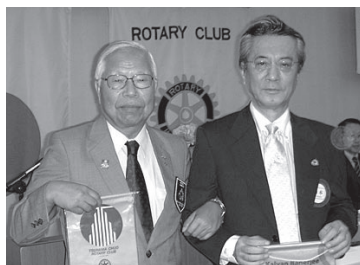
## ガバナー公式訪問だより

です。

会員の高潔さ、友情の深さ、家族一体となつての親睦に感動した公式訪問でした。

### 8/10 水 津山中央ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・山崎随行幹事



猛暑の8月10日 早朝、走り慣れた179号線。津山国際ホテルで待ち合わせの伊藤ガバナーの日焼けされた笑顔を思い浮かべ、随行という大役にハンドル

捌きもやや緊張ぎみでした。会長・幹事会では、初めに津山中央RCの山本平会長から「弱小クラブであるが、東北大震災の義援金50万円を送ることが出来た」という概況説明に始まり、「原点を見つめよう」をクラブの合言葉に地域に根ざしたローコスト運営に心がけているという点を強調されました。ガバナーも運営姿勢にうなずきをもって応え、川柳の『義援金、交付もせずはまだ募り』を引用しながら、全国から約10億円集まった「ガバナー会義援金」のうち、被災地送金の残金約8億7千万円の今後の用途や「東日本震災復興基金」について詳細に説明されました。

例会は、今回「津山中央・津山西RC合同例会」でしたが、先ず会長時間で山本会長が「魅力あるロータリーとは何か」と伊藤ガバナーに禅問答のような問いかけをされ、続いて幹事報告では「パートナー同伴夜間例会」の予定が報告されました。会長をはじめ会員の皆さんの温かい雰囲気なかで会は進行し、心地よいひと時を過ごすことができました。

### 8/10 水 津山西ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・山崎随行幹事



36番目の訪問先となる津山西RC。松永章会長は、本年10月16日に創立40周年記念式典を挙げることに合わせて、カルヤン・

パネルジー RI会長の3つの強調事項（①家族・②継続・③変化）と伊藤ガバナーのスローガンである「ロータリーは人をつくる」を十分に理解し、「人づくり」をベースに組織運営に取り組みたいと熱っぽく話され、その姿が印象的でした。

12時30分からは「津山中央・津山西RC合同例会」に移り、幹事報告では「早朝奉仕作業/早朝例会」のユニークな活動予定が報告されました。

「プログラム」ではガバナー時間が約30分間あり、その中で「魅力ある人間（ロータリアン）は能動的な生き方をする」と、冒頭の山本会長の問いに対し明瞭かつ簡潔に回答されました。

また、「入って学び、出でて奉仕せよ」とロータリー活動の原点にも触れられ、和やかな雰囲気の中で「吾唯足知」の心を実践される伊藤ガバナーの人となり十分に示されたように感じ、熱気の会場を後にしました。

### 8/11 木 倉敷ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・大田随行幹事



倉敷ロータリークラブは1950年創立、本年で62年を迎えられる歴史と伝統のあるクラブです。懇談会・例会に出席させていただき、その伝統に裏打ち

された品格あるクラブという印象を強く受けました。

歴史の長いクラブでありながら、マンネリに陥ることなく、井上峰一会長陣頭指揮の元、エネルギーで革新的なクラブ運営をされています。委員会構成等を拝見いたしますと、すでにCLPは実践済みであり、地域のクラブの模範となっております。そして例会出席率も90%代後半を維持しておられ、会員の皆様の参加意識が非常に高いことが伺えます。伊藤ガバナー曰く「真にパーフェクトなクラブ」であります。

次年度は森田昭一郎ガバナーを支えられるクラブとしてさらにその資質を高められ、2690地区のリーダー・クラブとして揺ぎ無い地歩を固められるものと確信いたしました。



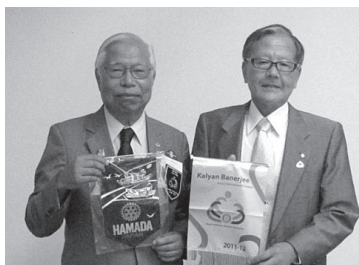
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

## ガバナー公式訪問だより

8/18 木

### 浜田ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・平 随行幹事



県内三番目のクラブとして設立され、樫山、松田お二人のガバナーを輩出されたクラブです。それだけに、永年の伝統と格式を持ったクラブであり、大らかで和気あ

いとした柔軟な対応には、懐の深さを感じさせ、会員同士の結束に浜田RCの底力を伺う事が出来ました。

本年度のスローガンは『笑顔で奉仕、好きさロータリー』とされ、「基本方針」はクラブ会費を有効活用し無駄を省き、メリハリの効いた会の運営に心がけるといふ、力強いものでした。

また、長年にわたり青少年の健全育成事業としては、ローター・アクト・クラブ運営に対する助言、事業活動への支援・協力と浜田マリン・サッカー・フェスティバルへの支援・協力等に取り組まれています。

これらは、ロータリー五大奉仕部門となって新たに誕生した新世代奉仕部門の取組みとして、これからもその重要性を鑑み、責務を全うすべく務められて行くことと確信しました。

さらに本年度は、支援クラブの浜田ローター・アクト・クラブから地区代表の山岡くんを輩出し、ローター・アクト地区大会を開催されるとお聞きしましたが、クラブとしてバックアップ体制を整えて、大会を成功裏に導かれる事を願っております。

8/19 金

### 益田ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・平 随行幹事



益田ロータリークラブは、昨年50周年を迎えられ、今年のスローガンを『未来に希望を』とし、一人一人の「個」を大切にすると共に、「団体」の大切さをより強く意識し、

未来に希望の持てる社会であるようロータリアンとして自信を持ち、「超我の奉仕」を実践し、社会貢献していく事の大切さを説くべく、新たなる一步を踏み出されました。

CLPを5年前に取り入れ、委員会・小委員会のあり方を考

え、クラブの活性化に役立てられており、インター・アクト・クラブ（IAC）への支援は45年の永きに渡り継続されています。3.11の大震災を契機に、ボランティア意識の高まりからIACへの加入が増えたともお聞きしました。

社会奉仕事業の一つとして環境問題を考え、EM菌（有用微生物群）による水保全の為の奉仕活動（プールの清掃・持石海岸の清掃）をIAC会員と共に共同で実施しておられます。例会では、クラブ会員の出席率が高く、ベネファクター受賞者が多いのは特筆すべき点でもあります。

今後、会員数30名を目標に2~3名の会員増強に努めていただきますようお願いして公式訪問を終えました。

8/19 金

### 益田西ロータリークラブ

訪問者：伊藤ガバナー・平 随行幹事



益田西RCは1977年、益田RCをスポンサーとして創立され、現会員数は31名と設立当初から大きな増減もなく一定の水準を保っております。年

齢別にみたクラブ会員数の6割が30~50代が占められ、若くて活気に充ち力強さを感じるとともに、反面、粗く多大なる可能性を秘めた原石を見る思いがしました。

今年度、第5グループのガバナー補佐として須山翔治氏を輩出され、クラブの活動にも更なる拍車がかかっているように感じました。

本年度のスローガンは『私から』(Begin with my Heart)、活動方針として「自分の心の中にある奉仕の理想を認識することから始め、次に自分から職業奉仕を日々実践し、また家族を愛し、さらにクラブ奉仕によって会員の力を結集し、みんなで社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕を実現していく」という、「私」から「世界」へ広げていく奉仕めざしておられます。

従来からもポール・ハリス・フェローに7割、ベネファクターに4割の会員が受賞されるなど、熱心な奉仕活動に取り組まれており、今後は創立35周年に向けて会員の皆さんが一致団結して、地域活性化の一助となるべく、更に活躍される意気込みを感じつつ、公式訪問を終えました。

## 笠岡RC創立55周年記念式典を終えて

記念式典実行委員長  
国定謙作



爽やかな青空の広がった9月23日、秋分の日、伊藤ガバナー、森下パストガバナー、高木笠岡市長、宮尾ガバナー補佐をはじめとして多くのご来賓と、スポンサークラブである岡山、倉敷両クラブの会長・幹事また第6グループ7クラブの会長・幹事の皆様、姉妹クラブである大田ロータリークラブの会長・幹事と会員の皆様のご列席を頂き、笠岡グランドホテルで55周年記念式典を開催いたしました。心配していた台風15号も過ぎ去り、絶好の式典日和でした。

今年は東日本大震災の為、全国で慶事の自粛ムードが広がっておりましたが、笠岡クラブは質素でも節目の行事は行おうという実行委員会の方針で諸準備を進めました。今回は会場の設営、進行などに会員のそれぞれの職業分野を最大限に生かし、音と映像を駆使して心に残る55周年をと考え、多くの会員の協力を頂いて殆ど自前の式典を計画いたしました。

はじめに2006年以降の酒井パストガバナーを含む7名の物故会員に対して黙祷を捧げた後、式典は粛々と執り行われました。記念事業として、近隣の小学生48チームを集めての笠岡ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催、および笠岡市への少年サッカーゴール1面分の寄贈と、去る3月の東日本大震災の直後に被災者に対する義捐金壹百万円の寄付を笠岡市役所を通じて行ったことを発表しました。

記念講演は浅口市にある岡山天文博物館長、栗野諭美先生をお招きし「3D映像による地球から宇宙への探索」と題した講演を頂きました。この講演には市内の小学5年生約60名を招待し、CGによる立体映像で地球から太陽系を離れ、さらに銀河系を通り越して遥か何億光年の彼方の宇宙の果てまでの壮大な旅を解説付きで1時間にわたって体感してもらい、子供たちは勿論のこと列席された大人もスクリーンに釘付けとなって皆さん楽しんでいただきました。

この講演のために必要な、銀色に塗装された3×4mの特大のスクリーン2面も会員の協力により作成された事も大きな話題でした。

岡山龍谷高等学校太鼓部のオープニング演奏で始まった祝賀会は、会場に設けられた4面のスクリーンに笠岡RC55年間の歴史を記録した何百枚もの写真を流して雰囲気盛り上げながら1時間半の間、テーブルを囲んで食事や会話が進んで友好を深めあい、一人の途中退席者もなく無事に周年事業が終了いたしました。





こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

## 岡山中央RC創立25周年記念式典を終えて

岡山中央ロータリークラブ会長  
荒木 雷太



9月25日に創立25周年記念例会を開催することができました。伊藤ガバナーをはじめとする地区役員の皆様、県南18ロータリークラブ会長幹事の皆さまにはお忙しい中、多数のご参加をいただき心より感謝申し上げます。

また、姉妹縁組先のタリーロータリークラブ（オーストラリア）から11名、親しいお付き合いをさせていただいている土城中央扶輪社（中華民国）から33名、岡山中央RCC会員10名の参加もいただき大変賑やかな例会とすることができました。

私たち岡山中央ロータリークラブの会員一同は1年以上前から25周年の節目をどのような日にするかを語り合ってきました。会員アンケートをとるなどして会員全員の気持ちを聞くと、派手ではないが我がクラブらしい思い出に残る例会にしたいという意見が多く寄せられました。あわせて今年度より、我がクラブはCLPを導入することとしていましたから、運営上の複雑さを避けるために、あえて25周年実行委員会を編成せず、前年度の小野会長はじめ理事役員の方々を中心に「記念例会」としてのアイデアをまとめていき、本年度の理事役員へ引き継いでいただきました。

我がクラブの創立以来の一番の個性は「高齢者福祉」への取り組みです。設立当初より「高齢者委員会」を設置し、日帰り旅行やゲートボール大会など地域の高齢者の方々の交流事業を進める中で、岡山中央ロータリー地域社会共同隊（岡山中央RCC）を設立、一緒になって高齢者施設を訪問し勉強会を実施したり、高齢者に対する専門的なボランティア活動を継続して実施したりするようになりました。今回の25周年を記念して徳永先生（野の花診療所

院長）を講師にお迎えした「市民公開講座」も長年続く事業の一つで通算17回目になります。創立25周年を記念して「さん太ホール」での講演会を企画し、一般市民の方々をお招きいたしました。このことを通じて我がクラブの歴史であり、誇りである高齢者問題への取り組みをクローズアップさせた例会といたしました。

今年度の我がクラブのテーマを「友情と実践」としています。創立25周年記念例会のみならず、CLPの実施、長期計画委員会の実施など急激な人口減少社会に突入した日本の1ロータリークラブとして、「実践」しなくてはいけないことが多いですが、何より大切なことは、そして忘れてならないことは「友情」を高めることだと思います。

皆さまのおかげで、楽しく明るい気持ちで25周年を迎えることができたように思います。あらためて感謝申し上げます。



タリーRCと土城中央扶輪社

## 2011-2012年度新地区補助金奨学生留学

地区ロータリー財団学友委員長 八島弘明

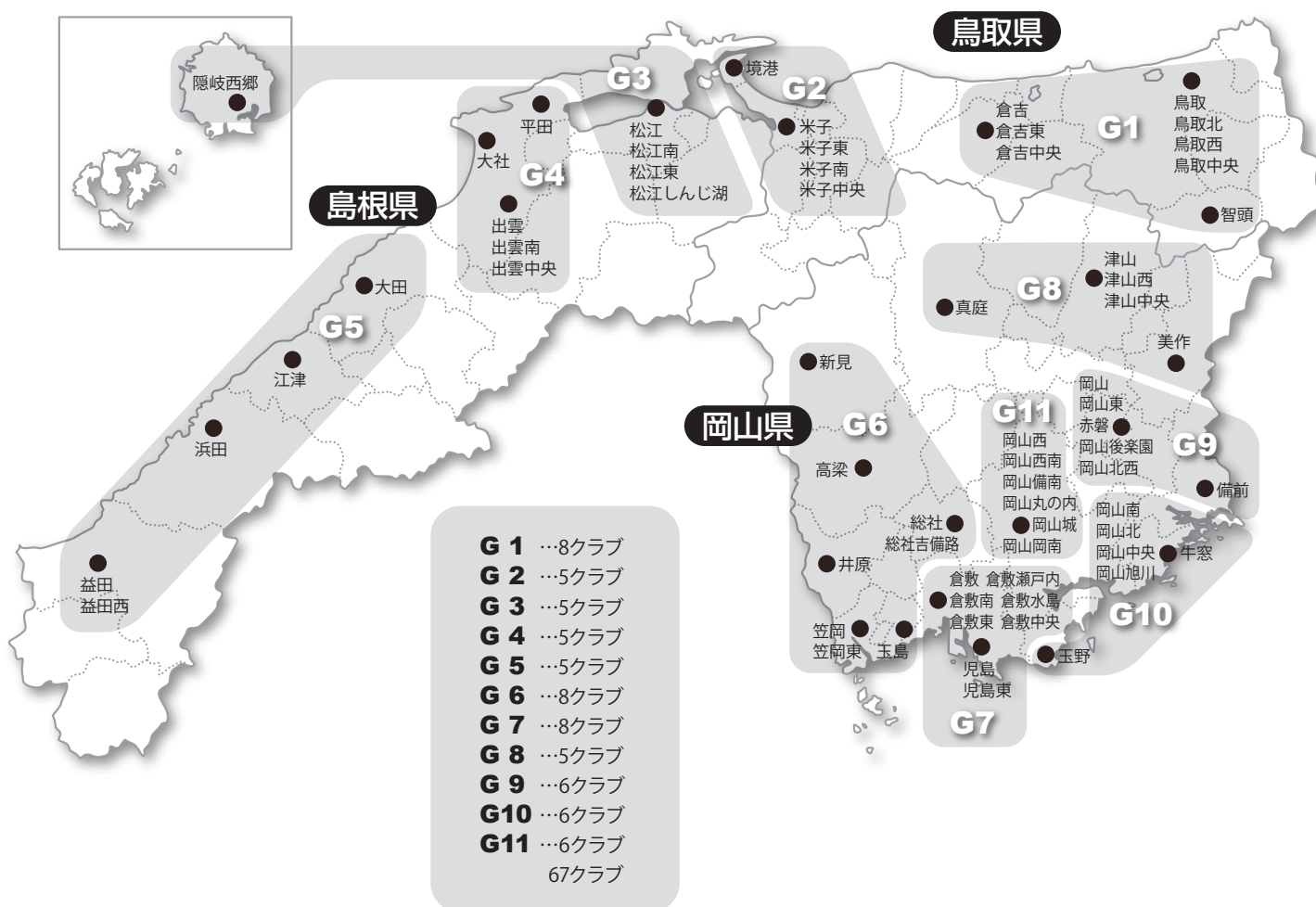
新地区補助金奨学生予定者の横井和子さん（スポンサークラブ：岡山北西RC）が、9月初めにオックスフォード大学大学院（宗教学）に合格されましたので、正式に新地区補助金奨学生と認定しました。

オックスフォード大学院のオリエンテーションが9月30日との厳しいスケジュールの中、現地ガバナーに受け入れを依頼し快諾を得て、留学にあたっての第2690地区R財団オリエンテーションを、9月16日に開催いたしました。

横井さんは、ロータリーの奨学金プログラムの目的を良く理解されています。将来は世界理解と平和を促進するため、国際機関に勤務したいと夢を語っていました。

学業に励むだけでなく、カウンセラーの指導のもと、語学力を生かして現地のロータリークラブの例会や行事に参加して、交流を深めていただきたいと思います。帰国後も、スポンサークラブへの報告や例会出席だけでなく2690地区と長く関わっていただけるものと確信しております。

### 国際ロータリー第2690地区クラブ分布図





こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

# 【 地区だより (2011年 9月) 】

(敬称略)

## 新会員ご紹介



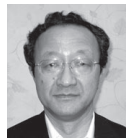
小林克美  
倉吉東RC



徳吉公司  
鳥取西RC



清水龍彦  
境港RC



木下辰太郎  
米子RC



高田泰司  
米子東RC



竹ノ内賢一郎  
米子南RC



大畑 憲  
米子南RC



佐々木弘泰  
浜田RC



岡田亘弘  
浜田RC



柴田政伸  
新見RC



吉岡 博  
新見RC



松田常男  
総社RC



小笠原敬三  
倉敷RC



塩飽和志  
倉敷RC



伊勢崎 創  
備前RC



佐藤苔助  
備前RC



山本 純  
備前RC



吉本正志  
備前RC



谷口貴久  
備前RC



宮長雅人  
岡山RC



土井雅人  
岡山東RC



石原彰二  
岡山東RC



渡邊慎一  
岡山東RC



佐藤睦子  
岡山西RC

## ロータリー財団への寄付

### 大口寄付者 (レベル4)



渡辺好政  
児島RC

### ポール・ハリス・フェロー



青木 淳  
智頭RC 2



岡本博文  
倉吉RC 7



倉部祥行  
倉吉RC 1



篠原顕一郎  
米子RC 6



竹村一秀  
大田RC 1



山本直樹  
笠岡RC 3

### ベネファクター



谷本隆臣  
大田RC



大角雄三  
岡山後楽園RC



丹波国泰  
岡山東RC



故 佐藤 博  
倉敷南RC 30



田邊九吾  
津山西RC 2



藤原 學  
岡山後楽園RC 1



深井豊久  
岡山後楽園RC 3



福島正春  
岡山後楽園RC 3



大角雄三  
岡山後楽園RC 3



末光 茂  
岡山後楽園RC 3



田邊敬三  
岡山後楽園RC 3



小川清弘  
岡山南RC 3



大和豊子  
岡山南RC 8



黒田卓郎  
岡山城RC 2

## 米山記念奨学会への寄付

### 米山 功 労 者



岩谷百合雄  
浜田RC 1



丸山昌己  
倉敷瀬戸内RC 1



西岡喜良  
倉敷瀬戸内RC 1



小野寛治  
倉敷瀬戸内RC 1



田邊九吾  
津山西RC 1



内田博子  
岡山城RC 2



謹んで哀悼の意を表し  
ご冥福をお祈りします



佐藤 博 PG  
(倉敷南RC)

2011年9月20日ご逝去  
(享年83歳)

1962年3月2日入会  
(医)養命会 佐藤医院理事 内科医  
1980~81年度 第20代会長  
1989~90年度 RI第2690地区ガバナー  
RI超私の奉仕賞受賞・ベネファクター(2回)  
大口寄付者(レベル1)・米山功労者(42回)・メジャーダー

# 【 地区だより(2011年9月) 】

(敬称略)

## ロータリー財団への寄付

ロータリー東日本震災復興基金への寄付

渡辺好政(児島RC).....12,820.51ドル

### クラブ特別寄付(年次寄付)

鳥取RC..... 5,747.43ドル (ミリオンダラーミール、その他)	岡山後楽園RC..... 266.67ドル (財団BOX)
倉敷瀬戸内RC..... 760.00ドル	岡山南RC..... 807.69ドル
岡山RC..... 1,087.18ドル (ミリオンダラーミール) (新入会員寄付)	

### 年次寄付にご寄付いただいた方々

松江しんじ湖RC..... 小塚隆訓、和田史朗

岡山後楽園RC..... 赤島 健、赤木 匠、秋定 健、秋山義信、青山慎吾、荒木賢治、浅海淳一、土井基之、藤本隆志、藤本洋平、福光富則、蜂谷真規、長谷博明、島瀬真治、池上 孝、居森正而、犬養吉晴、岩根宏行、片山大輔、川本平山、岸本泰博、小山幹雄、國貞繁樹、丸山夏樹、松井浩明、宮崎雅史、中村淳一、中村善一、那須保友、西山 悟、岡田喜篤、岡村和則、小野 剛、大塚康吉、佐伯行生、真田信二、芝田堅志、高山雅之、谷本光音、鳥越貞成、内田輝和、内山満義、内海睦雄、吉田啓一、由良眞言

岡山南RC..... 赤澤日出樹、秋山秀行、安東佳子、青山 勲、荒木昭仁、有松由恵、有元 稔、浅田昭治、浅原道尚、浅野 薫、江草安彦、江尻博子、藤澤 茂、藤田英彦、藤田成美、藤原広豊、藤原 和、藤原京子、藤原 恵、福岡睦子、福澤 忠、浜田 淳、濱野早苗、春木 茂、長谷川威、橋本光司、本田範行、堀章一郎、堀井茂男、生本 覚、今井 健、今村浩靖、石橋雅則、石谷祐一、石井栄一、石井清裕、岩崎増英、伊澤正信、神野 恵、神野時有、香川昌久、梶谷勝彦、加計孝太郎、金枝敏明、片岡 溥、片山正志、加藤和生、勝間田達広、貴田 茂、木村秀幸、木村 徹、木村聡城郎、木下素希、岸野年宏、北原哲五郎、喜多嶋康一、小林 滋、小池将文、小松原正吉、近藤弦之介、河口州男、國廣秀司、國富郷太郎、國富保太、黒田季之、黒瀬敦美、黒瀬仁志、前田 栄、榎野博史、真邊和美、間野正之、鞠子永雄、松畑照一、光吉 宏、宮地 敬、三宅一弥、宮下附一竜、水内淳一、森田 学、守屋勝利、永野公之、長家 靖、永山久人、中島 保、中島康博、中島洋子、新内芳之、仁木 壯、西川智晴、信江 茂、延原正浩、延原 正、野島 豊、野瀬洋輔、小田 澁、小川 健、尾原淑子、大平真澄、大道卓也、大岩道典、岡部錦一郎、岡崎弘志、岡崎世作、大西康正、小野山嘉木、大田弘之、大瀧 昇、尾崎敏之、齋藤 賢、榊原 敬、佐藤治男、佐藤 潔、佐藤昌信、佐藤芳郎、柴田 厚、重近 実、篠田純男、白神久志、末吉 豊、砂田治男、多田 駿、高木晶悟、高橋隆一、高松屋暢克、武谷信彦、瀧川和民、田村陽久、田村 哲、田中一宏、田中茂敬、戸田正志、友田重文、鳥越良光、豊福幸雄、辻 誠一、塚本博視、内田通子、宇治郷亘、海野 勉、畦平雅由、渡邊達夫、山田都一、山本敬史、山中寛朋、山根 学、安井英規、吉田喜重、吉本やよい、湯浅信夫、形山保淑、小出和久、宮地敬幸、滝川正春、坪井宏通、川野壮一、清水富江

牛窓RC..... 阿部公明、一村 稔、片桐成佳、藤井雅司、尾田 稔、服部恒雄、大島愿恭

## 米山記念奨学会への寄付

### クラブ特別寄付

鳥取RC..... 207,300円	浜田RC..... 111,500円 (米山ランチ)
--------------------	----------------------------

### クラブ普通寄付

鳥取RC..... 168,000円	倉敷瀬戸内RC..... 95,000円
--------------------	----------------------

### 特別寄付をいただいた方々

浜田RC..... 茶円有勝、江木修二、遠藤公輝、樋山陽介、螺山郁繁、今井久晴、石原昭二郎、鎌田和樹、桑本達夫、松尾 明、森須正孝、中村定親、中山俊彦、大場富雄、小笠原貞信、大崎 寛、斎藤寛治、佐々木護、佐々木幸登、島田康夫、高橋功一、高橋正紘、宇津郁男、山口博正、山崎勝志、矢口伸二、彌重博巳

表紙・長谷寺絵馬 西国三十三観音霊場図 嘉永7(1854)年、縦192.0cm 横195.0cm

西国三十三観音霊場を示した地図で、鳥取県からみて遠い東方を上にした構図です。伊勢湾から大阪湾、琵琶湖は、染料の藍を顔料に用い、青色鮮やかに仕上げます。

長谷寺の絵馬群中、最大であるにもかかわらず、各霊場に山々・お堂のほか観音像を、また名所旧跡をも細密に書き入れます。巡礼の全行程は50日から80日を要す大旅行でした。見知らぬ土地に想

いを馳せて、いったい何人の人がこの図を見てきたのでしょうか。

願主に連なる観音講の構成員23人は、殆ど女性です。町家の女性の名前がここまで知れることは珍しく、女性の信仰心と経済的な自立がうかがわれます。

奉納された嘉永7年、時代はペリーが日米和親条約を締結した直後でもありました。

# 出席報告 (2011年9月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数				クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数					
				7月1日	9月末	内女性 会 員	増減					7月1日	9月末	内女性 会 員	増減		
第1グループ	智 頭	84.62	76.92	4	11	13	1	2	児 島	84.35	66.09	4	28	29	0	1	
	倉 吉	92.54	76.32	4	55	57	3	2	児 島 東	94.20	85.51	3	23	23	0	0	
	倉吉中央	72.83	58.70	4	23	23	1	0	倉 敷	99.73	80.59	5	77	78	0	1	
	倉吉東	90.28	75.46	5	44	44	2	0	倉敷中央	92.59	87.04	3	18	18	3	0	
	鳥 取	100.00	87.26	5	53	56	2	3	倉敷東	91.87	84.55	3	40	43	3	3	
	鳥取中央	84.92	81.75	3	41	42	0	1	倉敷南	96.10	62.87	4	66	69	5	3	
	鳥取北	86.36	78.28	4	54	53	6	-1	倉敷水島	71.29	61.39	4	31	31	0	0	
	鳥取西	88.18	81.82	4	53	55	0	2	倉敷瀬戸内	91.45	71.23	4	37	38	2	1	
計(8)	87.47	77.06	/	334	343	15	9	計(8)	90.20	74.91	/	320	329	13	9		
第2グループ	境 港	81.87	74.27	4	42	44	0	2	第8グループ	真 庭	96.18	83.97	4	34	34	0	0
	米 子	86.13	61.76	4	62	63	2	1		美 作	93.28	93.28	4	35	35	1	0
	米子中央	84.85	76.97	5	33	34	1	1		津 山	78.98	69.03	4	88	90	3	2
	米子東	86.32	67.97	4	77	79	5	2		津山中央	75.00	73.00	4	26	26	2	0
	米子南	94.33	77.30	3	46	49	1	3		津山西	87.02	83.08	4	34	34	4	0
	計(5)	86.70	71.65	/	260	269	9	9		計(5)	86.09	80.47	/	217	219	10	2
第3グループ	松 江	88.35	72.56	4	68	68	0	0	第9グループ	赤 磐	74.51	64.00	3	20	20	0	0
	松江東	88.79	77.06	4	57	58	0	1		備 前	78.70	76.00	4	43	54	4	11
	松江南	94.42	86.29	3	68	68	4	0		岡 山	86.35	67.49	4	105	114	0	9
	松江しんじ湖	92.93	74.75	3	63	66	9	3		岡山東	92.26	85.93	4	85	87	0	2
	隠岐西郷	82.00	68.00	4	26	27	0	1		岡山北西	90.97	81.82	3	49	50	4	1
	計(5)	89.30	75.73	/	282	287	13	5		岡山後楽園	81.57	74.90	5	51	51	0	0
第4グループ	平 田	87.88	80.81	3	38	38	1	0	第10グループ	計(6)	84.06	75.02	/	353	376	8	23
	出 雲	77.72	72.83	4	48	46	1	-2		岡山旭川	81.00	72.00	4	25	25	1	0
	出雲中央	77.55	70.07	3	50	49	3	-1		岡山中央	92.06	80.83	3	45	45	5	0
	出雲南	98.87	87.57	3	59	59	6	0		岡山北	79.44	63.33	4	45	46	0	1
	大 社	84.56	69.85	4	42	42	0	0		岡山南	81.40	70.83	4	151	158	13	7
	計(5)	85.32	76.23	/	237	234	11	-3		玉 野	89.84	80.47	4	32	32	0	0
第5グループ	江 津	80.56	69.44	4	26	26	0	0	第11グループ	牛 窓	85.71	85.71	3	7	7	0	0
	浜 田	85.71	74.07	4	52	56	1	4		計(6)	84.91	75.53	/	305	313	19	8
	益 田	92.71	78.26	4	24	24	2	0		岡山備南	79.69	75.78	4	35	35	4	0
	益田西	80.65	65.57	4	30	31	1	1		岡 山 城	91.51	83.02	4	27	27	4	0
	大 田	93.33	87.83	5	26	26	3	0		岡山岡南	88.33	77.97	4	30	30	3	0
第6グループ	井 原	82.18	67.82	4	46	46	2	0	岡山丸の内	78.40	68.00	4	32	32	3	0	
	笠 岡	95.45	89.66	4	50	51	0	1	岡 山 西	88.84	75.23	3	73	75	6	2	
	笠岡東	85.71	80.36	4	42	42	1	0	岡山西南	87.40	71.14	4	64	64	3	0	
	新 見	90.00	83.33	5	16	18	1	2	計(6)	85.70	75.19	/	261	263	23	2	
	総 社	80.47	75.15	5	37	39	7	2	地区 クラブ 内の 状況	クラブ数	67RC						
	総社吉備路	87.59	86.86	4	35	35	3	0		7月1日現在会員数	3,027名						
	高 梁	90.23	75.58	4	44	44	3	0		9月末日会員数	3,101名						
	玉 島	91.95	86.21	3	30	30	1	0		内 女性会員数	146名						
計(8)	87.95	80.62	/	300	305	18	5	純増	74名								
											9月出席率	Make-up後	86.91%				
												ホームクラブ	76.28%				

国際ロータリー第2690地区  
2011-2012年度  
地区スローガン



ロータリーは人をつくる

国際ロータリー第2690地区 2011-2012年度 ガバナー  
**伊藤 文利**

〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階  
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691  
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp